

おおいそ学園に赴任して思うこと

管理課長 関根 幸子

4 月 1 日付けでおおいそ学園の管理課長を拝命いたしました、関根と申します。福祉の現場での勤務としてはおおいそ学園が初めてで、戸惑うことも多いですが、周囲の支えを受けながら毎日が学びの連続です。

おおいそ学園という施設については着任前から名前や概要は知ってはいましたが、実際に足を踏み入れて、様々な職種の職員が子ども達の健やかな成長と自立に向けて各々の専門性を活かして支援する姿に、この学園の持つ使命を強く感じました。

そうした学園の中で、私が所属する管理課の業務は、一言でいえば「縁の下力持ち」です。建物の維持管理や物品の調達をはじめ、栄養バランスの取れた食事の提供、子ども達の健康管理、車両の運行、職員のサービス管理、さらには予算の執行や関係所属との連絡調整に至るまで、実に多岐に渡ります。子ども達と関わる機会が多くはありませんが、学園の運営を支える重要な役割であると自負しております。

堅固な土台がなければ家が建たないように、管理課の仕事がしっかりしていなければ、子ども達や職員は安心して学園

での生活や学習、あるいは業務に取り組むことはできません。私たちの業務が、安心して生活し働ける環境づくりの基盤となることを意識しながら、管理課の職員は目の前の仕事に日々向き合っています。

また、子ども達と直接関わる職員と、それを支える職員がそれぞれの役割を認識し連携・協力し合う姿を見せることは、子ども達にとっても大切な学びになるのではないかと私は思います。

私は福祉や教育の専門職ではなく、知識や経験も乏しいため、子ども達の自立支援について知ったようなことを言うことはできませんが、一人の大人として、おおいそ学園の一員として、自分にできることを積み重ねていくことで、少しでも子ども達の成長に関わっていけたらと願っています。



～生沢分校通信～

■国府小学校生沢分校 山口 友紀子 校長

「国府祭（こうのまち）」の季節となりました。相模国「国府祭」とは、毎年5月5日に六つの神社が集まる祭典で、神奈川県が無形民俗文化財にも指定されています。おおいそ学園の門を出てすぐ左にある神揃山（かみそろいやま）には、寒川神社、川勾神社、比々多神社、前鳥神社、そして平塚八幡宮の神様が集まり、国家の安泰や、五穀豊穡を祈願します。また「座問答」といって、一の宮か二の宮のどちらが相模国で一番大きな神社であるかの論争を表す神事も行われ、その仲裁役として三の宮の宮司が「いずれ、明年まで」と言って終わるのですが、これが千年以上も続いています。この地域は昔「国府」が置かれた場所で、本校の名前もここからきています。これからも歴史ある国府の地で、子ども達が健やかに成長することを願っています。

■国府中学校生沢分校 野口 裕美 校長

「目標」「心」「行動」「人とのつながり」を大切に自分なりの目標を持ち、心をしっかり持って行動し、人とのつながりを大切にして過ごせる環境にいること・・・このあたりまえのことが、ここで過ごす子どもたちにとってどれだけ尊いことかを実感しています。おおいそ学園と生沢分校は、自然豊かで心が落ち着く環境であることに加え、自分のことを認めてくれる人がいて、持っている能力や才能を発揮しながら、未来に向かって進んでいく力をつける場所です。大磯に来たことを「人生を整えるチャンス」としてとらえ、ここにきたからこそ出会えた人、ここにいるからこそできることを大切にして、自分の力を社会のために使える人に成長することを願っています。子どもたちの心に少しでも多くの輝きを添えられるように、これからも取り組んでまいります。よろしくお願いします。

～着任の先生方の挨拶～

■小学部 花田 健一 先生

今年度、新しく着任しました。生沢分校の皆さんと楽しく過ごしていきたいと思います。趣味は卓球です。ぜひ、一緒に卓球をしましょう。1年間よろしくお願いします。

■中学部 廣田 圭佑 先生

今年度着任しました。数学科の廣田です。楽しい数学の授業を目指して日々研究を重ねて、生徒とともに自分も大きく成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

■養護教諭 小嶋 真規 先生

本年度より赴任してきました養護教諭の小嶋です。児童生徒の心と身体の健康を支えていけるよう、寄り添いながら毎日の生活を一緒に過ごしていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

■中学部 橋本 絢貴 先生

みなさん、よろしくお願いします。生沢分校のみなさんと、授業や生活を通して、心の交流ができればよいなと思っています。野球が好きなので、一緒に野球をしましょう。

■中学部 多田 百合恵 先生

家庭科を担当させていただきます多田百合恵と申します。はじめてのことが多く緊張していますが、元気いっぱい頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

■スクールカウンセラー 荒木 晶子 先生

4月からスクールカウンセラーとして着任しました、荒木晶子です。自然豊かなおおいそ学園で生徒のみなさんと同じ時間を過ごしながら、これからみなさんのことを知っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

～お世話になった先生方、ありがとうございました～

□内田 淳実 先生（国語） □迫田 卓士 先生（小学部） □川崎 たまき 先生（養護教諭）

～おおいそ学園 新任職員の挨拶～

■管理課 関根 幸子 課長

4 月より管理課に赴任しました。初めての福祉施設勤務ということで、戸惑うことも多いですが、一日も早く仕事に慣れ、おおいそ学園の一員として、子ども達の成長を少しでも支えていけるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 池田 賢一 課長

4 月より自立支援課長となりました池田です。おおいそ学園は、4 年ぶり 2 度目の着任となります。久しぶりの学園は、その空気感や自然の豊かさ、その中に響く子どもたちの声等、全てが懐かしく感じています。どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 梅寮 遠藤 太郎

令和 7 年度 4 月より梅寮に配属となりました遠藤と申します。元々夜間指導員として梅寮で働いていましたが、4 月からまたこうしておおいそ学園に関わることができることになったので、子どもたちと過ごす中で共に成長していきたいです。よろしくお願いいたします。

■自立支援課 竹寮 上田 航也

令和 7 年 4 月より竹寮に配属となりました上田と申します。子どもたちと共に生活をしていく中で、自分も職員として成長していければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 竹寮 松田 泰樹

令和 7 年 4 月から竹寮に配属となりました松田と申します。学園での生活は初めてになりますが、子どもたちと生活や活動を一緒にしながら、子どもたちの成長の助けとなれるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 桂寮 石上 新一

令和 7 年 4 月から桂寮に配属となりました石上と申します。おおいそ学園の生活は、初心者マークの 1 年生です。子どもたちと生活を共にする中で、いろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■管理課 吉良 航太

令和 7 年 4 月より管理課に配属となりました吉良と申します。慣れないことも多く緊張や不安もありますが、子どもたちの成長を支えていく仕事に関われることに期待と喜びを感じています。精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 梅寮 菅野 大樹

令和 7 年度 4 月より梅寮に配属となりました菅野と申します。子どもたちと共に生活、活動をしながらか子どもたちのことを知り、次の生活の場で子どもたちが生きる力を持てる一助になればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

■自立支援課 梅寮 宮島 剣

令和 7 年度 4 月より梅寮に配属となりました宮島と申します。新採の時に見学して以来、9 年ぶりに来ました。慣れないことばかりですが、一緒に汗をかきながら楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

■自立支援課 竹寮 田中 麗奈

今年度より竹寮に配属となりました田中と申します。おおいそ学園での生活は初めてが多く、戸惑いばかりですが、子ども達と一緒に生活することで、一緒に成長していきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

■自立支援課 桂寮 河原 真也

今年度より桂寮に配属となりました河原と申します。おおいそ学園で子どもたちと生活をともにしながら、一緒に活動に励んだり、学んだり、話を重ねたりと向き合いながら、自身も一緒に成長できるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



～各寮レポート～寮長だより～

桂寮 友田寮長

令和 7 年度の桂寮は、中学 3 年が 3 名、中学 2 年が 2 名、中学 1 年が 2 名の計 6 人で新学期をスタートしました。中学 1 年生は中学生に上がって学生服を着、急に大人びたような凛々しい姿で登校しています。日々賑やかな桂寮ですが、それぞれの課題を確認しながら、児童同士、職員と話し合い、工夫しながら生活しています。今年はクラブ活動に熱心な児童も多く、活気ある 1 年になっていきそうです。

竹寮 渋谷寮長

3 月に中学卒業生が 5 名退所し、現在は中学 3 年が 4 名、中学 2 年が 1 名、中学 1 年が 1 名の計 6 名でスタートしています。例年と比べて児童数が少ないことから、日課や役割の順番がすぐ回ってくるので、残る児童は日々大変ですが、職員も協力して穏やかな雰囲気の中で過ごしています。中学 3 年、それ以外の児童も今年度は次の生活の場を目指しての支援を促進する 1 年となります。

梅寮 石原寮長

令和 7 年度の梅寮は中学生 3 名、高等部生 5 名の 8 人体制でスタート。比較的落ち着いた雰囲気の中、梅側の中学生 3 人に対し、中学から高等部へと上がった新一年生を含む椿側の 5 人は通学、通勤、高等部とそれぞれが自分の日課で動いており、今年の重点課題であるリービングケアやアフターケアの足掛かりとして何処まで激変緩和の対応が取れるか、学園一丸となって模索する一年となります。

異動・退職された職員の方々

■支援課長 荒木 宏治

■桂寮 風間 悟 副寮長
福山 太
山岸 岳

■竹寮 佐藤 薫
松尾 俊彦

■梅寮 森田 進
岩澤 裕文
森野 正裕

■地域支援グループ
高橋 京子

■管理課 圓道 眞理 課長
皆川 駿大

編集後記

新年度が始まり、分校教諭・園職員ともに大きな入れ替えがありました。

職員一同、児童たちと良い関係を築き、自立に向けた支援をおこなっていきたいと思います。

今後とも、広報誌「みのり」を含め、おいそ学園の取り組みについてご理解。ご協力をお願い致します。(広報委員会)

